

第4回

岐阜市幼児教育推進プラン検討委員会

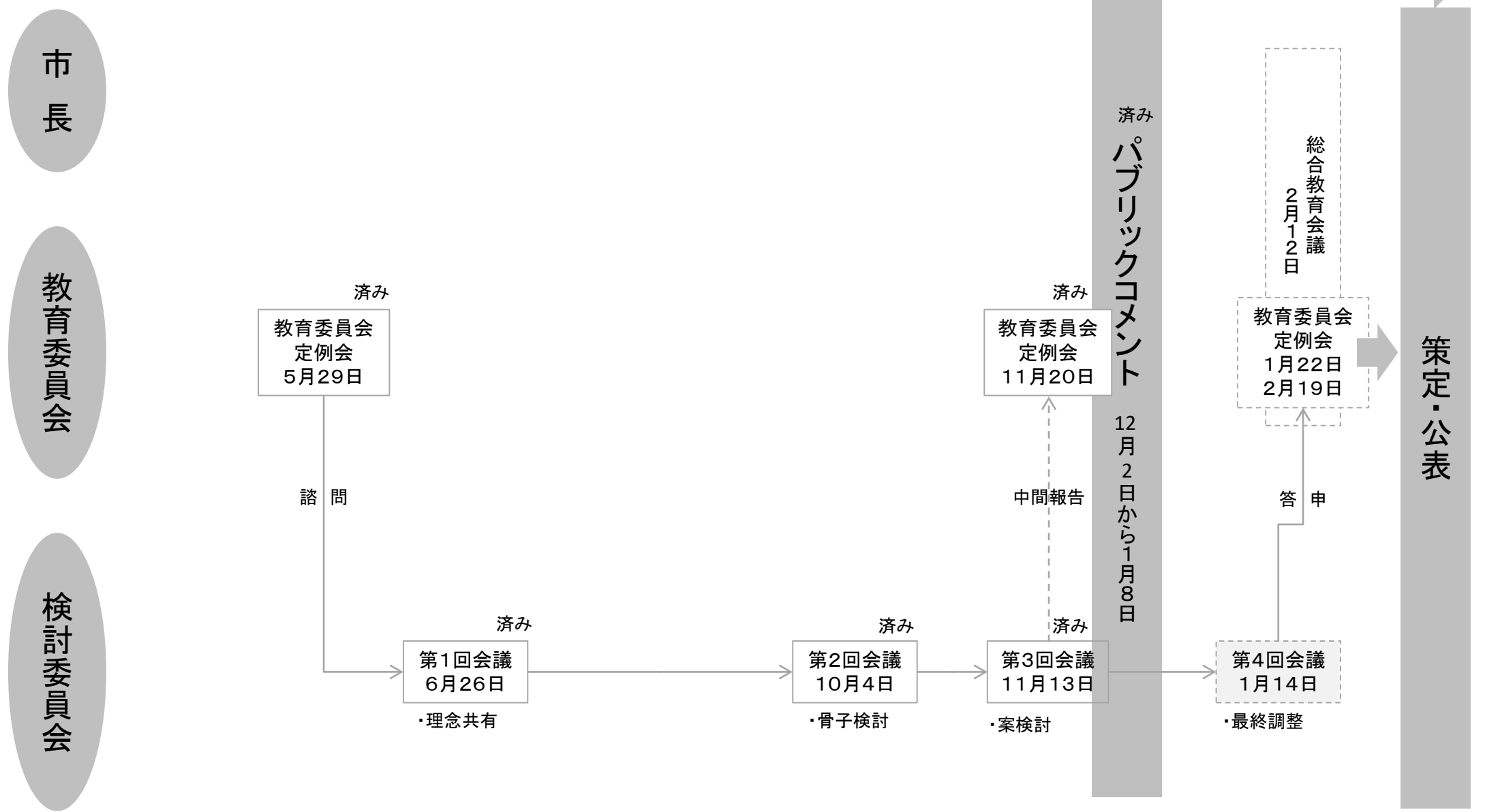
第3回会議のまとめ等

令和2年1月14日

幼 児 教 育 課

○ 策定・公表に向けた経過と予定	・・・3
○ これまでの会議の大まかなまとめ①～②	・・・4・5
○ 第3回会議で出された視点・論点①～⑤	・・・6～10
○ 素案からの主な追記・修正箇所	・・・11
○ 教育委員への中間報告で出された意見の反映	・・・12
○ パブリックコメント手続きの結果	・・・13
○ 本日の会議について	・・・14

策定・公表に向けた経過と予定



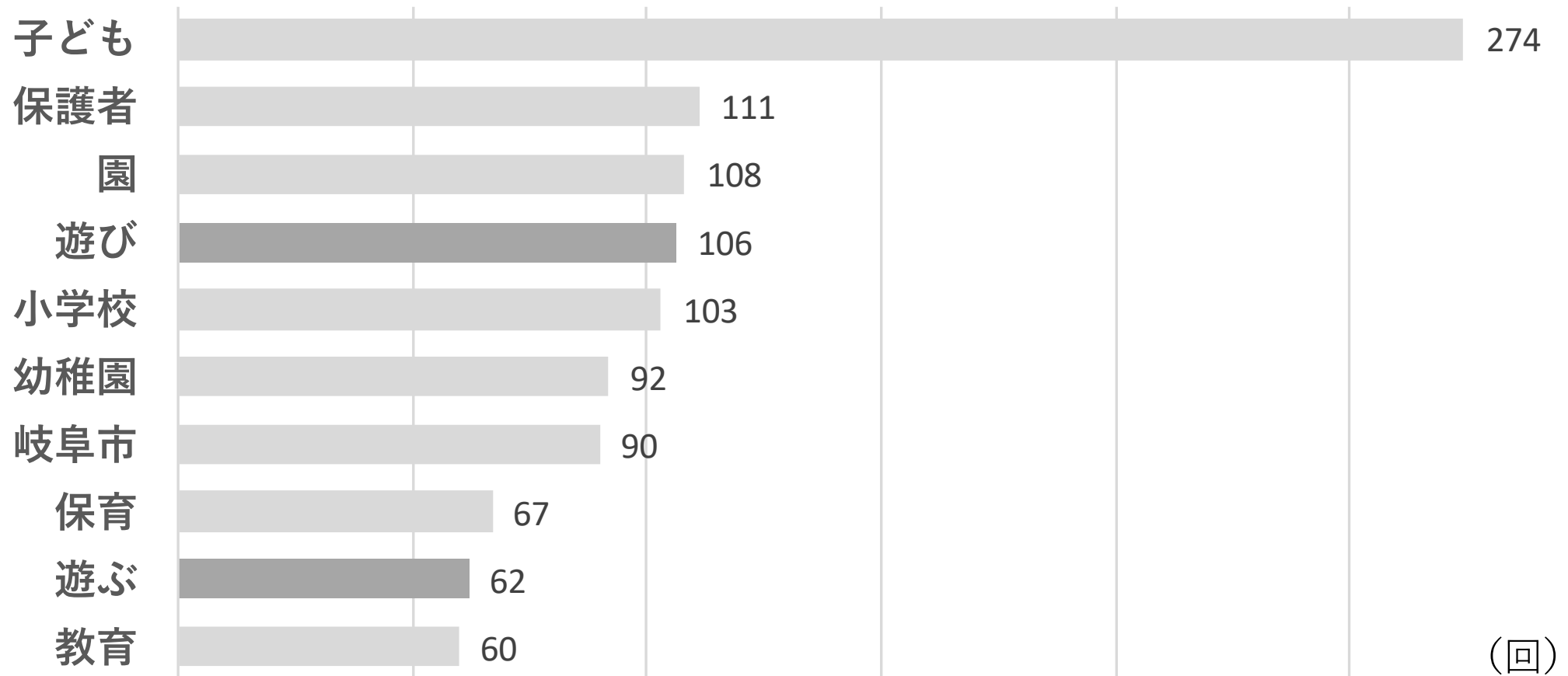
これまでの会議のたまかなまとめ①

該当ページ	議事・協議の概要
教育委員会定例会 5月29日	・プラン検討委員会の委員選任 ・プランの策定イメージ ※岐阜市の幼児教育推進のコンセプトを明確化する ※これまでの体系・施策を踏まえつつ、新たな視点や課題を発見・検討するとともに、具体的な取組の骨子を含むプランとなるよう議論を進める
プラン検討委員会 6月26日	・委員挨拶(幼児教育に対する考え方や期待について) ・互選により委員長を選任 ※委員長:加納誠司委員(愛知教育大学教授) ・幼児期の家庭教育調査(2019年2月から3月に実施)について、真田委員(ベネッセ教育総合研究所主任研究員)からの話題提供
プラン検討委員会 10月4日	・プラン(骨子)について協議 ※幼児教育を大切にすまち ※オール岐阜の幼児教育推進 ※大切にしたいこと(子ども理解・遊びの中の学び・発達の多様性)
プラン検討委員会 11月13日	(資料1 6~10ページ)
教育委員会定例会 11月20日	(資料1 12ページ)

これまでの会議のたまかなまとめ②

○ 子どもや保護者、園、小学校に関することが多く議論されるとともに、遊びや遊ぶことについて多数の発言がなされてきた。

－会議で用いられた単語の上位10－



第3回会議で出された視点・論点①

○ 遊びの中の学びについて

根っこ

・人生の実りは、遊びという見えない根があって実現される。

生活の中の 学び

・生活の中でも学びがあることは、念頭に置いておくべきだ。

・例えば、公園などで子どもがドングリをたくさん集めてくる。そして、帽子がついている・いないで分けて並べたりする。そのときに分類や数などについて子どもは頭の中で数学をしている。

図式化

・オール岐阜で乳幼児期の子どもの育つ土壌を耕すことで、根っこが張って、学童期以降すくすくと育っていく。大人になって社会へ出た後に、各々の花が開いていくイメージが分かりやすいのではないかな。

・根っこから枝の部分遊びと捉えて、発達途中の芽を描くイメージもある。じょうろで水を注ぐなどすれば、成長を促す働きかけを表現できる。

特設ページ

・プランで紹介する事例を入口にして、さらに具体の理解を特設ページで深められるとよいのではないかな。

・ウェブサイトにも、体を動かす楽しみについても、体を使った遊びで何を経験していくかを例として入れられると、認知能力や非認知能力だけではなく、体力や運動能力も含めてバランスが取れるのではないかな。

第3回会議で出された視点・論点②

○ 幼児教育・保育における“主体・主体性”について

保育と教育

・認定こども園制度ができて、対外的に話すときに「教育」と言うべきか、「保育」と言うべきか悩むことがある。子どもの主体性を育てるために「教え育てる」となると違和感がある。

根 底

・遊びと学びの根底には子どもの興味や主体性が位置づけられる必要があるのではないか。

大人の 関わり

・ただ遊んでいることも大事だが、保育者による環境構成や援助によって更なる学びに繋がられるのではないか。

バランス

・例えば、好きなものだけ食べようという栄養教育はなく、バランスよく食べるべきだ。
だから、好きなことだけしようという考えは現実には合わない。
大人の側にも、より子どもが主体的になれる、面白いと思わせるための工夫が大事だ。

主 体

・主体には、大人の主体性も含まれるのではないか。子どもが主体的に取り組めるようにいざなう役割が求められる。
・子どもが主体的であることは大切だが、保育者も主体的であることが必要だ。保育者は、子どもの実態を考えた上でどのような援助や環境が求められるかを考えるべきで、そのことが子どもの主体性を潰すわけではない。

第3回会議で出された視点・論点③

○ 発達の多様性について

多様性の 理解

- ・発達障がいと呼ばれる障がいがあると書かれているが、診断名ではないので表現を変えた方がよい。
- ・発達障がいのことだけを書いているように感じる。重度心身障がいの子どもの保護者の方から相談を受けたことがあるが、いつも置き去りにされてしまうと話をされていた。
- ・子どもの発達については色々なことがあり、その子その子によって発達段階が異なるということまで幅広く表現できるとよい。

その子 らしく

- ・独り立ちとは、その子らしくいきいきと社会に羽ばたいていくことだ。一人ひとりが違っていいのだから、それを保護者などが認め、子どもの育ちを支えていくことが大切ではないか。

第3回会議で出された視点・論点④

○ 公立幼稚園について

プラン中の 位置づけ

- ・“オール岐阜”を掲げながら、公立幼稚園だけが記載されているのは違和感がある。
- ・“オール岐阜”で推進するならば、公立は重要な存在なので、「公立」の在り方として示すことが求められるのではないか。

公立の役割

- ・幼児教育課が中心となって施策を推進するための拠点が必要だ。
- ・乳幼児教育に関わる様々な機関との連携について、公立が担っていかなければならない部分がある。
- ・研究発表は、エビデンスをしっかりと示していくことが公立の役割だ。教育研究機関とも連携して調査や分析を行い、人の意識などが具体的にどのように変わったかを発信していくべきだ。理想をしっかりと検証して示す役割が求められる。
- ・岐阜市の幼児教育センターとして、教育や保育の別なく、福祉施設関係も含めて、実際的に取り組んでいける現場があると理想的ではないか。

第3回会議で出された視点・論点⑤

○ その他

個別の 取り組み

- ・就学時健康診断の活用や、今の時勢に合わせた保護者同士のコミュニティを大事にした手法を模索するとよい。
- ・セミナーとなると受け身になってしまうが、参加者同士が繋がれるような企画に取り組んでいてもらえるとよい。
- ・オール岐阜の取り組みの中で、保育者を養成する大学・短期大学などとの連携も重要だ。

プランの 策定主体

- ・岐阜市の幼児教育についてのプランであれば、岐阜市教育委員会と岐阜市が共に発行している形にできるとよい。

素案からの主な追記・修正箇所

該当ページ	追記・修正概要
全体として	パブリックコメント手続き時に公表した案に基づいて、より多くの方に手に取っていただけるようデザインに注力して編集した。
2P下段	計画期間・位置づけについて、末尾(19P)から冒頭に移動した。
10P中段	子ども理解について、「その子らしくいきいきと」との記述を追記した。
13P上段	発達の多様性について、「発達障がいと呼ばれる障がいがありますが、(後略)」との記述を削除し、後段に繋がる平易な記述へと修正した。
17・18P下段	私学振興補助金について、「多様な幼児教育施設は本市の財産」との記述を削除し、説明的な記述へと修正した。
17P下段	公立幼稚園について、教育委員会の所管施設である旨や機能に関する簡素な記述へと修正した。
18P中段	具体的な取り組みに、「のびのび育てぎふっ子」を追記した。
20P	乳幼児期からの育ちと学びの見通しについて、下を0歳として上に向かって年齢を重ねていくように表現を修正した。

教育委員への中間報告で出された意見の反映

○ パブリックコメント手続きの実施に先立ち、
11月20日の教育委員会定例会において教育委員に対する中間報告を行い、
委員からの質問に回答したほか、出された意見を下記のとおり反映した。

－出された意見－

計画の 見直し

- ・社会情勢の変化の激しさを考えると、
10年の計画期間中にも改訂する必要が生じるのではないかと。

連携範囲

- ・図書館や科学館などの社会教育施設や、
子ども若者総合支援センター“エールぎふ”との連携について明示するとよいのではないかと。

反 映

該当ページ	追記・修正概要
2P下段	計画の見直しについて、「見直しが必要であれば、5年経過時点での改訂について検討する」としていたものを、「5年経過時点でそれまでの取り組み内容などを反映するための改訂を行う」と修正した。
9P	オール岐阜の図において、市関係部局の補足説明に「各社会教育施設」や「エールぎふ」を追記した。

パブリックコメント手続きの結果

- 下記のとおり実施し、ご意見を頂いた。
 - ※結果は、プラン策定後、市の考えとともに整理して公表。
 - ※意見内容は、会議当日に紹介予定。

項目	概要
募集期間	令和元年12月2日(月)～令和2年1月8日(水)
閲覧場所	幼児教育課(南庁舎3階)、 市政情報コーナー(本庁舎低層部1階)、 各コミュニティセンター、 市民活動交流センター(ぎふメディアコスモス)、 市ホームページ
意見提出	意見数 8件 ※確定前

パブリックコメント手続きの一環として、市内の教員養成大学のゼミに出張参加し、学生からも意見をもらいました。

▼ゼミの様子



本日の会議について

○ 全体に関するご意見の他、下記の個別論点について調整をお願いいたします。

遊びの中の
学び

遊びの中の学びについて、
図表(11P)を作成しましたので、ご意見をお願いします。

育ちと学びの
見通し

育ちと学びの見通しについて、
図表(20P)を作成しましたので、ご意見をお願いします。



今回のご意見などを受けて案を修正(委員長一任)し、本委員会の答申とします。
今後、教育委員会や総合教育会議の場で協議の上、最終決定・公表します。